

単元名 1000を こえる 数

配当時間 7時間

単元の目標 (1) 十進位取り記数法に基づいて、10000までの数の表し方、数系列、大小を理解し、その数を読んだり、表したり、大小を比較したりすることができる。
 (2) 十進位取り記数法に基づいて、1000を超える数の表し方や大小を考えたり説明したりすることができる。
 (3) 十進位取り記数法によさに気付き、進んで10000までの数を読んだり、表したりしようとする

標準的な展開例

02040304_001

【準備等】位取り板、お金の模型、p. 94～95の数直線

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 1000を超える数に興味をもち、数え方を工夫する。[p. 90・p. 91]</p> <p>○紙が何枚あるかを考える。</p> <p>○単元の学習課題をつかむ。 ★1000をこえる数のあらわし方やしくみをしらべていこう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1000までの数について調べたときの経験から同じものが10集まると次の位に進むことを想起させる。 100のまとまりや、1000のまとまりがいくつできるかを考えさせる。 <p>【評】1000を超える数を数える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p>
<p>2 4位数の表し方を知り、数の構成について考える。[p. 92]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★二千三百五十六という数についてしらべよう。</p> <p>○4位数の仕組みを知り、読んだり書いたりする。</p> <p>○三千七十四を数字で書く。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習の1000までの数を復習しながら学習を進めるようにする。 十進位取り記数法について確認する。 位取り板で、計算棒等を提示しながら視覚的にも捉えやすくする。 「1000を○個、100を○個、10を○個、1を○個合わせた数」という言い方をさせる。 空位に0を書かないと、4位数にならなくなることに気付かせる。 <p>【評】4位数を読んだり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>3 10000までの数の構成や相対的な見方についての理解を深める。[p. 93]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★100がいくつあるかをもとに、数をしらべよう。 ○100を24個集めた数について考える。</p> <p>○3200は100を何個集めた数かを考える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 100や1000を単位とする数の相対的な見方で捉えさせる。 形式的に考えさせるのではなく、お金の模型など具体物の操作活動を通して考えさせる。 「100が20個で□、100が4個で□、合わせて□」のように表現し、数の構成、分解について理解を深めさせる。 1000円札を100円玉10個に置き換えて考えさせる。 100を単位とした数の構成と分解について、理解を深めさせる。 <p>【評】4位数を100や1000を単位とした見方で捉える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
<p>4 10000という数を知る。[p. 94]</p> <p>○挿絵の●の数を数える。</p> <p>○「一万」の用語の意味とその書き方を知る。</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★一万という数についてしらべよう。</p> <p>○10000より1小さい数と、9000にあといくつで10000になるかを考える。</p> <p>○10000は100を何個集めた数かを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数直線と数の構成を合わせて考えさせる。 ●の数を数えさせることにより、9999より大きい数については学習していないことに気付かせる。 1000を10個集めた数を「一万」と言い、「10000」と書くことを知らせる。 100のまとまりから確認させ、次に1000のまとまりを線で囲ませる。それが10個集まって次の位になることを意識させる。 9999から1増えると10000になることを押さえる。 数直線上でも確認し、数系列を捉えさせる。 <p>○100を単位にして10000という数の大きさを考えさせる。</p> <p>【評】10000までの数系列を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>5 10000までの数系列を考える。[p. 94・p. 95]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★数の直線についてしらべよう。</p> <p>○6500, 3700, 9900が数直線のどこに当たるのかを調べる</p> <p>○1000を超える数を、「ア」1000とび、「イ」100とび、「ウ」10とびで順に数える。</p> <p>○4位数の大小を比べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数直線では、1目盛りがいくつかをまず確認することが大切であることを想起させる。 <p>【評】10000までの数系列を考える活動を通して、「知識・理解」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1目盛りが100であることを確認する。 数直線を使って考えさせるとよい。 <p>○どの位の数に目を付ければよいのかを考えさせる。</p> <p>○>、<の使い方を確認する。</p>

<p>6 練習問題に取り組む。[p. 96]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「れんしゅう」に取り組む。 <p>7 単元を振り返り，確認問題に取り組む。[p. 97]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「たしかめよう」に取り組む。 <p>○学習の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を重点的に行う。 <p>【評】練習問題を解く活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導を通して，単元の学習内容の定着を図る。 ・自己評価をし，不十分なところは教科書で振り返らせる。 <p>【評】問題に取り組む活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1000を超える数について分かったことや面白かったこと，もっとやってみたいことなどを書かせる。
--	--

【 備 考 】

本単元は，既に「100をこえる数」で学習した十進位取り記数法の仕組みを基にして，10000までの数について学習する。具体的に数えることを通して大きな数のイメージ作りを行うことが大切である。そして，数の表し方，数の大小，数の系列順序を既習事項を基にして身に付けさせるようにさせる。また，10000までの数を，100を単位としたり，1000を単位としたりして，相対的な大きさを捉えることも大切である。